

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名	伊万里市立東山代小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に学習するための授業づくりを具体的目標に掲げ、全職員で共通理解して取り組み、児童の学習意欲を継続させることに力を入れた。児童のアンケートでの算数に対する肯定的回答は80%は超えているものの、前期より低下してしまった。 昨年度までの校内研究での取り組みを継続して、支持的風土を基盤にした学級づくりを大切に教育活動を実践し、昨年度より学校が落ち着いた。しかし、キャリア教育については、学年によってボランティアや職業体験活動を仕組むことがあまりできず、児童が将来への夢や希望をもつための学習機会が少なかった。
2 学校教育目標	故郷を愛し 心豊かに 志を持って生きる児童生徒の育成 ～ かしこく(知) やさしく(徳) たくましく(体) ～
3 本年度の重点目標	①「学力の向上」に重点的に取り組み、児童の学習意欲を向上させ、基礎的・基本的学力の底上げをはかり、活用力を身に付けさせていく。 ②キャリア教育を意識した授業づくりや特別支援教育の充実に取り組み、支持的風土を基盤とした学校づくりを充実させる。

4 重点取組内容・成果指標				主な担当者
(1) 共通評価項目				
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取り組みの促進を図る。	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○児童全員が主体的に参加するような授業の実践	○アンケートで肯定的な回答をした児童の割合80%以上	・教材研究の充実と発問や問い返しの技術の向上、学び合いを取り入れた授業づくりの工夫を図る。	
●心の教育	●特別支援教育や人権同和教育を中核に据え、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○校内や学級での生活アンケートで肯定的な回答をした児童の割合80%以上	・児童の実態把握に関するアンケートの実施 ・特別支援教育についての理解を深める校内研修等の実施 ・人権同和教育や道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施	・特別支援教育コーディネーター ・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・研究主任 ・各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。 ・生徒指導連絡会を毎週実施する。	・生徒指導担当 ・各学年主任
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)80%以上	・6年間を通して、地域ボランティアや各講師を招いて様々な体験活動を実施 ・児童による活動の見通しと学びの振り返りを充実させる	・教務主任 ・各学年主任
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上	・給食便りと学校便り、学級通信で朝食の重要性について連携した情報発信の実施 ・給食指導の時間や教科、学級活動での児童への指導の充実 ・保護者対象の試食試食会の開催(それに代わる啓発研修の機会設定)	・栄養教諭 ・各学年主任
	○安全に関する「資質・能力」の育成	○性に関する指導の授業を、全学級年間に1回以上行う。ただし発達段階に応じて回数を考慮する。	・「性に関する年間教育計画」に基づき、全学年で性教育を行う。	・養護教諭 ・各学年主任
	○職員の食物アレルギー等への意識と対応技術の向上	○アレルギー発生事案をゼロにする	・各種アレルギーに対する研修会を年間2回実施 ・アレルギー児童への対応マニュアルと薬等の保管場所の共通認識 ・保護者との密接な連携	・栄養教諭 ・各学年主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・業務記録票による自己管理の徹底 ・退勤時刻の事前設定による時間外勤務時間の削減	・管理職
	○聖域のない学校行事や業務の見直しと削減	○働き方改革について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・働き方改革委員会を年2回実施、職員自身による業務改革を図る。	・管理職
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○児童の探究心と学習持続力の向上	○指導方法についての全職員の共通理解と共通実践	○佐賀県学習状況調査[12月調査]において無答0、全観点で対県比1.0以上	・児童が課題に向かう必然性や日常性を実感できる学習課題づくりの工夫 ・学習意欲の向上と持続を促す形成的評価(言葉がけ)の工夫	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--